

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-95639

(43) 公開日 平成7年(1995)4月7日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	片内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 4 Q 3/58	1 0 7	7190-5K		
H 0 4 M 1/57				

審査請求 未請求 請求項の数1 O L (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平5-236479

(22) 出願日 平成5年(1993)9月22日

(71) 出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72) 発明者 八木 寿

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

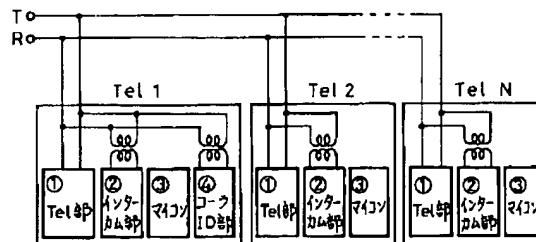
(74) 代理人 弁理士 武田 元敏

(54) 【発明の名称】 コーラID機能付インターカム電話機

(57) 【要約】

【目的】 電話機のコストアップを最少にしたコーラID機能付インターカム電話機をうる。

【構成】 公衆電話回線T、Rから到来する電話番号情報(コーラID)をコーラID部④で検出し、この番号は、インターカム通話用のインターカム部②を経由して他のセットへ入力される。



Tel 1, Tel 2, ..., Tel N ... インターカム電話機

1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 インターカム通信手段およびインターカム通話動作を制御するためのデータ通信手段を有するインターカム付電話機において、電話交換局から到来するコーラIDを復調するコーラID部を、インターカムシステムを構成する複数のインターカム付電話機のうち、少なくとも1台のインターカム付電話機に有し、他のインターカム付電話機にはインターカム部を経由して転送入力することを特徴とするコーラID機能付インターカム電話機。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は発呼者の電話番号を着信側に知らせる、いわゆるコーラID機能付インターカム電話機に関し、特に電話機のコストアップを最少にしてコーラIDサービスを活用しようとするものである。

【0002】

【従来の技術】 従来、インターカム付電話機には、電話交換局から到来するコーラIDを復調する手段がなかった。ここで前記コーラIDとは、電話交換局から発呼者の電話番号や名前、電話のかかった日時等の情報をモデム信号に変調し、呼出音(ベル)の1回目と2回目に送信するものである。このようなコーラIDサービスはアメリカ、カナダで広く普及している。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、インターカムシステムを構成する複数のインターカム付電話機に、従来は1台ごとにコーラIDの受信回路(コーラID部)を付加する必要がある、コストアップになるという問題があった。

【0004】 本発明は、このような問題点を解決し、コストアップを最少にしたコーラID機能付インターカム電話機の提供を目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】 本発明は上記目的を達成するため、インターカム通信手段およびインターカム通話動作を制御するためのデータ通信手段を有するインターカム付電話機において、電話交換局から到来するコーラIDを復調するコーラID部を、インターカムシステムを構成する複数のインターカム付電話機のうち、少なくとも1台のインターカム付電話機に有し、他のインターカム付電話機にはインターカム部を経由して転送入力することを特徴とする。

【0006】

【作用】 本発明によれば、インターカムシステムを構成する複数のインターカム付電話機のうち、少なくとも1台に電話交換局から到来するコーラIDを復調するコーラID部を有し、他のインターカム付電話機にはインターカム部を経由して転送入力する。したがって、複数の他のインターカム付電話機には前記コーラID部を不要

2

とし、低コストとすることができる。

【0007】

【実施例】 図1は本発明の一実施例によるコーラID機能付インターカム電話機の構成を示すブロック図である。図1において、Tel1, 2, ...Nは公衆電話回線TおよびRに接続されたインターカム付電話機を示し、符号①は、インターカム付電話機としての機能を示すTel部のブロック(回線インタフェース、パルスダイヤル、ハンドセット等)を示す。②はインターカム付電話機としての機能を示すインターカム部のブロック(内線通話インタフェース、内線呼出等)、③はTel部①、インターカム部②、コーラID部④の制御を行うためのマイコン、④は電話交換局より送られてくるコーラIDを復調するためのコーラID部である。Tel2, ...Nは、Tel1に比べてコーラID部④が省略された形となる。また、各々のTelには図示しない表示部を有し、電話交換局より送られるコーラIDを表示する。

【0008】 次に、本装置の動作について説明を行う。インターカム部②は周知のごとく、マイコン③からの情報により各Telの状態を示すデータの授受および内線通話路を形成している。データの内容としては、各Telの回線使用状態、呼出先、発呼者の電話番号等である。

【0009】 図2はインターカムのデータ通信の方式を示すタイミング図であり、この図に示すように、データの形式はトーンバースト方式と呼ばれるもので、455kHzのキャリア信号をON/OFFする周期を変えることにより、デジタルデータの0/1に対応する。ここで、Tel1はコーラID部④を有しているため、電話交換局より送られる発呼者の電話番号を復調してマイコン③へ番号のデータを出す。このデータを受けた前記マイコン③はインターカム部②を通じ、他のTelへ発呼者の電話番号のデータを送出する。このデータはTel2, ...Nのインターカム部②を経由して各々のTelのマイコン③へ入力される。

【0010】 このようにして、1台のTelでコーラIDを復調し、他のTelにコーラIDを転送入力できるので、機能に支障なく低コストで実現できる。

【0011】

【発明の効果】 以上説明したように、本発明のコーラID機能付インターカム電話機は、電話回線に接続された複数のインターカム付電話機のうち、少なくとも1台のインターカム付電話機にコーラID部を有することにより、他のインターカム付電話機はコーラIDを受け取ることができるため、コーラID受信のためのコストを必要としない。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の一実施例によるコーラID機能付インターカム電話機の構成を示すブロック図である。

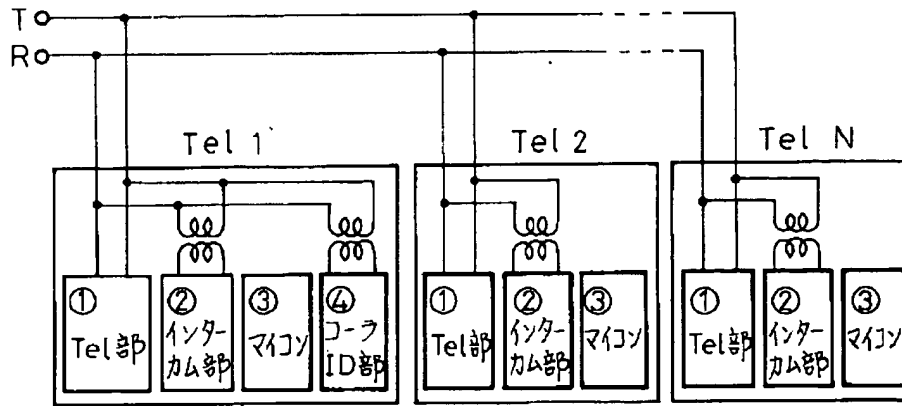
【図2】 インターカムのデータ通信の方式を示すタイミング図である。

【符号の説明】

①…Tel部、 ②…インターカム部、 ③…マイコン、

④…コーラID部、 Tel 1, Tel 2, …Tel N…インターカム付電話機。

【図1】



Tel 1, Tel 2, …, Tel N…インターカム電話機

【図2】

